



# M-GTA研究会 第3回合同研究会



東京、西日本、北海道、九州のM-GTA研究会の会員が一堂に集まり、講演や分析ワークショップを通して、M-GTAに関する学びと親交を深める合同研究会を開催します。

と き: 2014年8月30日(土)・31日(日)

場 所: 1日目 熊本保健科学大学(熊本市北区和泉町325)  
2日目 桜の馬場 城彩苑(熊本市中央区二の丸1-1-1)

参加費: 会員4,000円 非会員1,000円 (交流会費5,000円)

定 員: 80名

申込方法: 【会員】研究会ホームページ(会員専用ページ)から

→締切: **8月8日**(参加登録後に振込用紙を送付)

【非会員】8月8日以降に研究会ホームページから

→締切: **8月25日**(参加費を振込んだ後に参加登録)

**★注意★ 非会員は基調講演のみの参加となります**



## プログラム



《8月30日・土曜日》

11:30-12:30 参加受付

12:30-12:35 開会挨拶 小倉啓子(ヤマザキ学園大学)

12:35-13:35 基調講演 木下康仁(立教大学)「M-GTAの基本特性」

13:50-17:50 分析ワークショップ:セッション1(会員限定)

分析テーマの設定、分析ワークシートによる概念生成など

18:30-20:30 交流会(城見櫓)

《8月31日・日曜日》

09:20-11:50 分析ワークショップ:セッション2(会員限定)

概念間関係の吟味、結果図とストーリーラインの作成など

12:00-12:10 閉会挨拶 佐川佳南枝(熊本保健科学大学)

※宿泊は各自で熊本市内のホテルなどご手配ください。

※堅苦しい会ではありませんので、カジュアルな服装でお越しください。

## 分析ワークショップ（会員限定）グループ

1	2号館2階 2201ゼミ室	光村実香(理学療法学) 訪問看護ステーションあおぞら	倉田貞美(看護学) 浜松医科大学
			山崎浩司(死生学) 信州大学
2	2号館2階 2202ゼミ室	高丸理香(社会学) お茶の水女子大学	宮崎貴久子(健康情報学) 京都大学
			佐川佳南枝(作業療法学) 熊本保健科学大学
3	2号館2階 2203ゼミ室	小倉啓子(臨床心理学) ヤマザキ学園大学	丹野ひろみ(臨床心理学) 桜美林大学
			長崎和則(社会福祉学) 川崎医療福祉大学
4	2号館2階 2204ゼミ室	阿部正子(看護学) 長野県看護大学	藤好貴子(看護学) 福岡女子学院看護大学
			坂本智代枝(社会福祉学) 大正大学
5	2号館2階 2205ゼミ室	大高靖史(社会福祉学) 筑波大学	根本愛子(日本語教育学) 成蹊大学
			林葉子(社会学) お茶の水女子大学

### 必要な事前準備

- 参加者は上記いずれかのグループに配属されます。参加グループを選択することはできません。
- 事前に使用するデータ資料が配信されますので、各自熟読してワークショップに臨んでください。
- また、最低限、以下の文献を必ず熟読のうえご参加ください——  
木下康仁(2003)『グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践』弘文堂。  
木下康仁編著(2005)『分野別実践編グラウンデッド・セオリー・アプローチ』弘文堂。  
木下康仁(2007)『ライブ講義M-GTA—実践的質的研究法』弘文堂。

